



『第25回 東京校歌祭』 報告

昨秋、日和に恵まれた都民の日、「第25回東京校歌祭」が、会場は今年初めて使用する荒川サンパールで開催されました。参加団体は、新たな参加校を加え、都内の高校同窓会の20校となり、特別参加の4大学（東大、早大、慶大、一橋大）はなくなりました。

12:30に開会式のプラカード入場者がステージに並ぶと、宇津木会長の挨拶、杉本実行委員長の開会宣言で始まり、一番はブラスバンド演奏付きの小山台高校が華やかな校歌・文化祭寄贈歌を披露しました。つづいて初参加の旧制府立女子高校の白鳳（第一高女）、竹早（第二高女）、三商、両国、小石川、小松川、新宿、武蔵丘、隅田川、九段の各校が歌い、中休みでは全員合唱で「故郷」を歌いました。そして来賓挨拶のあと、全員合唱「花は咲く」を歌いました。後半ステージでは、文京、江北、豊多摩、一商、立川、戸山、西、千歳そして最後がブラスバンド演奏付きの石神井でした。会場はご来場者が例年並みで、参加者を含め大いに盛り上がりました。

千歳高校・誠之会は、芦花高校の合唱部の参加もあり、36名で、「健児の歌、千歳高校校歌、芦花高校校歌（芦花という名の学びの庭に）」を、楽しく優雅に歌いました。指揮は、毎年の廣瀬泰文さん（32期）に加え、鶴田芙美子先生（芦花高校）、ピアノ伴奏は昨年につき小鹿紡さんをお願いしました。芦花高生徒の伴奏で歌った芦花高校校歌は、新しい絆を感じました。



校歌祭終了後は、公会堂4階のホールで、懇親会が開催され、美味しく飲食をしながら、いろいろな話に花が咲きました。今回も他校との交流もあり、有意義な催しでもありました。その席で、他校からも芦花高校との合同を大切にしたいとのアドバイスをいただき、「芦花という名の学びの庭に」の歌の良さに感動したという声もあり、この合同演奏は大成功でした。

ご参加された方々、大変お疲れさまでした。有難うございました。

今年は、11月3日（土）於：杉並公会堂です。

校歌祭担当 木名瀬 伸博（32期）